

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第77期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	瀧上工業株式会社
【英訳名】	The Takigami Steel Construction Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 瀧上 晶 義
【本店の所在の場所】	愛知県半田市神明町一丁目1番地
【電話番号】	0569-89-2101（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 瀧上 定 隆
【最寄りの連絡場所】	愛知県半田市神明町一丁目1番地
【電話番号】	0569-89-2101（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 瀧上 定 隆
【縦覧に供する場所】	瀧上工業株式会社東京支店 （東京都中央区湊一丁目9番9号） 瀧上工業株式会社大阪支店 （大阪市西区北堀江二丁目10番19号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第76期 第2四半期 連結累計期間	第77期 第2四半期 連結累計期間	第76期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	4,498	4,759	9,662
経常利益又は経常損失 ( ) (百万円)	118	64	6
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失 ( ) (百万円)	137	77	141
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	645	1,006	433
純資産額 (百万円)	23,284	24,519	24,228
総資産額 (百万円)	27,268	29,282	30,103
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額 ( ) (円)	5.63	3.19	5.79
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	84.4	83.3	80.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	373	174	213
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,245	853	527
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	158	828	197
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	7,526	7,129	6,929

回次	第76期 第2四半期 連結会計期間	第77期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	5.72	1.03

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式の存在がないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、瀧上精機工業(株)は平成25年4月11日に当社株式の取得により、その他の関係会社となっております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出の持ち直しに加え、企業の景況判断や雇用情勢にも改善傾向が見られるなど、景気の緩やかな回復が見られる中で推移しました。

鋼構造物製造事業におきましては、国の防災・減災対策や老朽化対策などの公共事業予算の増加により、一時的な回復基調は見られますが、中長期的には不透明な状況にあり、依然として厳しい受注環境にあります。

このような中で、当第2四半期連結累計期間の鋼構造物製造事業における受注高は64億9千万円(前年同期比45億9千万円増・242.5%増)となりました。操業面は前半の製作数量の落ち込みが影響し、期初の計画は未達となりましたが、損益面は大型鉄骨工事の完成や設計変更の獲得などにより、完成工事高45億1千万円(前年同期比4億1千万円増・10.0%増)、営業損失9千万円(前年同期は2億7千万円の営業損失)となりました。

不動産賃貸事業につきましては、賃貸不動産の需要が低調な中、物件毎の収益低下を最小限にとどめた結果、売上高2億4千万円(前年同期比3百万円増・1.6%増)、営業利益1億5千万円(前年同期比2百万円増・1.3%増)を計上することが出来ました。

その他の事業につきましては、平成25年6月より遊休地の有効活用として売電目的の太陽光発電設備を新設し、太陽光発電事業へ参画しております。

上記の要因により、当第2四半期連結累計期間における連結損益は、その他を含めまして、完成工事高47億5千万円(前年同期比2億6千万円増・5.8%増)、営業損失4千万円(前年同期は2億1千万円の営業損失)、経常利益6千万円(前年同期は1億1千万円の経常損失)、四半期純利益7千万円(前年同期は1億3千万円の四半期純損失)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、292億8千万円(前連結会計年度末比8億2千万円減・2.7%減)となりました。

流動資産は、大型鉄骨工事の完成による未成工事支出金の減少などにより、129億7千万円(前連結会計年度末比18億円減・12.2%減)、固定資産は、株価の上昇により投資有価証券の時価評価額が増加したことなどから、163億円(前連結会計年度末比9億8千万円増・6.4%増)となりました。

負債は47億6千万円(前連結会計年度末比11億1千万円減・18.9%減)となりました。流動負債は、支払手形・工事未払金等の営業債務の減少に加え、大型の不採算物件の完成により工事損失引当金が減少したことなどから18億6千万円(前連結会計年度末比16億6千万円減・47.3%減)、固定負債は、金融商品会計の時価評価に伴う繰延税金負債の増加により29億円(前連結会計年度末比5億5千万円増・23.6%増)となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより245億1千万円(前連結会計年度末比2億9千万円増・1.2%増)となりました。この結果、自己資本比率は83.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果は、たな卸資産及び売上債権の減少などから1億7千万円の資金収入(前年同期は3億7千万円の資金支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果は、定期預金の払戻による収入及び有価証券の償還による収入などから8億5千万円の資金収入となりましたが、前年同期比では3億9千万円( 31.5%)の収入減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果は、自己株式の取得による支出及び配当金の支払額などから8億2千万円の資金支出となり、前年同期比では6億6千万円(421.4%)の支出増加となりました。

(現金及び現金同等物)

上記の要因により、現金及び現金同等物四半期末残高は71億2千万円となり、前年同期末比では3億9千万円( 5.3%)の資金減少となりました。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は16百万円であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	71,751,000
計	71,751,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	26,976,000	26,976,000	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	26,976,000	26,976,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年9月30日	-	26,976	-	1,361	-	389

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
瀧上精機工業株式会社	名古屋市中川区富川町3-1-3	6,735	24.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	1,188	4.40
株式会社ジーク	名古屋市瑞穂区彌富町紅葉園55	1,000	3.70
瀧上 茂	名古屋市天白区	998	3.70
株式会社メタルワン	東京都港区芝3-23-1	970	3.59
株式会社横河ブリッジホールディングス	東京都港区芝浦4-4-44	631	2.33
新日鐵住金株式会社	東京都千代田区丸の内2-6-1	624	2.31
瀧上 渥子	名古屋市瑞穂区	481	1.78
高畑 一貴	兵庫県西宮市	400	1.48
鈴木 伍郎	名古屋市守山区	371	1.37
計	-	13,399	49.67

(注) 当社所有の自己株式3,868千株(14.33%)は上記から除いております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,868,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,843,000	22,843	-
単元未満株式	普通株式 265,000	-	-
発行済株式総数	26,976,000	-	-
総株主の議決権	-	22,843	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式62株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 瀧上工業株式会社	愛知県半田市神明町一丁目1番地	3,868,000	-	3,868,000	14.33
計	-	3,868,000	-	3,868,000	14.33

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、五十鈴監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	7,629	7,529
受取手形・完成工事未収入金等	5,063	4,360
有価証券	600	500
未成工事支出金	1,356	447
材料貯蔵品	36	34
その他	96	104
流動資産合計	14,782	12,976
固定資産		
有形固定資産	4,633	4,721
無形固定資産		
ソフトウェア	29	32
その他	5	20
無形固定資産合計	35	52
投資その他の資産		
投資有価証券	10,123	11,203
長期預金	300	100
その他	228	228
投資その他の資産合計	10,652	11,532
固定資産合計	15,321	16,306
資産合計	30,103	29,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,880	1,102
未成工事受入金	778	291
未払法人税等	6	3
工事損失引当金	501	195
引当金	78	75
その他	281	191
流動負債合計	3,527	1,860
固定負債		
退職給付引当金	611	638
引当金	115	112
繰延税金負債	1,480	1,984
その他	141	167
固定負債合計	2,348	2,902
負債合計	5,875	4,763



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	389	366
利益剰余金	21,086	21,014
自己株式	1,428	1,971
株主資本合計	21,409	20,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,693	3,622
その他の包括利益累計額合計	2,693	3,622
少数株主持分	126	125
純資産合計	24,228	24,519
負債純資産合計	30,103	29,282

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
完成工事高	4,498	4,759
完成工事原価	4,257	4,380
完成工事総利益	240	379
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 460	<sup>1</sup> 425
営業損失( )	219	46
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	74	77
賃貸収入	7	-
持分法による投資利益	-	10
その他	14	15
営業外収益合計	113	117
営業外費用		
為替差損	0	-
自己株式の取得に関する付随費用	2	7
賃貸費用	1	-
持分法による投資損失	5	-
投資有価証券売却損	1	-
営業外費用合計	11	7
経常利益又は経常損失( )	118	64
特別利益		
固定資産売却益	0	-
損害賠償損失引当金戻入額	-	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	4	0
投資有価証券評価損	10	-
会員権評価損	-	0
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	133	73
法人税、住民税及び事業税	7	0
法人税等調整額	3	3
法人税等合計	4	3
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	138	77
少数株主損失( )	0	0
四半期純利益又は四半期純損失( )	137	77

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	138	77
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	506	924
持分法適用会社に対する持分相当額	0	5
その他の包括利益合計	507	929
四半期包括利益	645	1,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	645	1,007
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	133	73
減価償却費	200	182
貸倒引当金の増減額( は減少)	0	-
賞与引当金の増減額( は減少)	1	7
工事損失引当金の増減額( は減少)	22	305
退職給付引当金の増減額( は減少)	11	26
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	37	3
受取利息及び受取配当金	90	92
持分法による投資損益( は益)	5	10
自己株式の取得に関する付随費用	2	7
固定資産売却損益( は益)	0	-
固定資産除却損	4	0
投資有価証券売却損益( は益)	1	-
投資有価証券評価損益( は益)	10	-
会員権評価損	-	0
売上債権の増減額( は増加)	857	703
たな卸資産の増減額( は増加)	170	910
仕入債務の増減額( は減少)	55	778
未成工事受入金の増減額( は減少)	952	486
未払消費税等の増減額( は減少)	41	5
その他	84	66
小計	365	174
法人税等の支払額又は還付額( は支払)	8	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	373	174
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	700	500
利息及び配当金の受取額	94	95
有価証券の売却及び償還による収入	600	600
有形固定資産の売却による収入	13	-
有形固定資産の取得による支出	187	313
投資有価証券の売却及び償還による収入	25	-
投資有価証券の取得による支出	3	3
その他	3	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,245	853
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	3	709
配当金の支払額	149	149
少数株主への配当金の支払額	2	-
その他	3	30
財務活動によるキャッシュ・フロー	158	828
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	713	199
現金及び現金同等物の期首残高	6,813	6,929
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 7,526	<sup>1</sup> 7,129

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りであります。
給料賃金 172百万円	給料賃金 159百万円
従業員賞与引当金繰入額 17百万円	従業員賞与引当金繰入額 16百万円
退職給付費用 8百万円	退職給付費用 9百万円
役員退職慰労引当金繰入額 7百万円	役員退職慰労引当金繰入額 6百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金預金	8,226百万円	7,529百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	700 "	400 "
現金及び現金同等物	7,526百万円	7,129百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	149	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
 末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	149	6.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
 末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月14日 取締役会	普通株式	69	3.00	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,099	237	4,337	160	4,498	-	4,498
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	67	67	67	-
計	4,099	237	4,337	228	4,565	67	4,498
セグメント利益又は損失( )	271	157	113	4	108	111	219

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋳螺釘類製造事業を含んでおり  
 ます。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額 67百万円及び「セグ  
 メント利益又は損失( )」には、親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用 111百万円等を含ん  
 でおります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,510	241	4,751	7	4,759	-	4,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,510	241	4,751	7	4,759	-	4,759
セグメント利益又は損失( )	98	159	61	0	61	107	46

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、第1四半期連結会計期間より太陽  
 光発電事業を含んでおります。

2 調整額の「セグメント利益又は損失( )」には、親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用 107  
 百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末(平成25年3月31日)

その他有価証券

区分	取得原価(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	1,684	5,846	4,461
債券・国債	500	502	2
その他	299	305	6
計	2,484	6,655	4,170

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

時価のあるその他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が見られます。

その他有価証券

区分	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	1,687	7,279	5,591
債券・国債	500	503	3
その他	299	304	4
計	2,487	8,086	5,599



(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の契約額その他の金額に前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )	5円63銭	3円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(百万円)	137	77
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(百万円)	137	77
普通株式の期中平均株式数(株)	24,439,330	24,287,216

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式の存在がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月14日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....69百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

瀧上工業株式会社  
取締役会 御中

### 五十鈴監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 安井 広伸 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中出 進也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている瀧上工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、瀧上工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。